

1200万署名・NPT代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03 5842 6031 FAX:03 5842 6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年12月3日 No.17 NPTまであと151日

日本原水協
全国交流集会

署名のとりくみを 住民ぐるみの運動に

日本原水協は11月28-29日の2日間、東京で「NPT代表派遣、1200万署名推進全国交流集会」をひらきました。集会には44都道府県と中央14団体などから106人が参加。51人が発言し、活発な討論が行われました。

報告に立った高草木博事務局長は「NPT再検討会議の最終日まで6カ月と迫る状況のもとで252万筆の署名があつまり、ニューヨークへの派遣代表に応募した数が1250人に達したことが報告されている。次回NPT再検討会議が、世界の圧倒的多数の人々と多くの政府が求めるように、核兵器のない世界を実現する道筋として、核兵器



禁止条約の交渉開始を、との要求を国民的な声に発展させるために、文字通り、署名のとりくみを住民ぐるみの運動に発展させよう」と提起しました。17万全市民を視野に入れて署名にとりくむ宮崎県都城市の来住新平さんと、ブロックの推進会議を毎月必ず開いている埼玉県坂戸市の紺野智恵子さんが特別発言を行いました。

2日間の討論では宮崎県都城の教訓に学んで自治体ぐるみ、地域ぐるみの運動をすすめている経験や、「ピースチャレンジャー」運動など多彩な運動の経験が報告されました。そして世界の変化をつかんだ運動で、被爆国の役割を果たしていくこと、1200万筆の目標達成にむけて、あらためて決意を固めあいました。

NPT代表15人派遣、署名推進体制を確認 世田谷

世田谷では、全国交流集会直後の11月30日、署名推進とニューヨーク代表派遣を一体として推進しようと「NPT派遣・署名推進委員会」を22団体で発足させました。東京原水協の石村和弘事務局長が全国交流集会の内容を報告しました。推進委員会ではNPT再検討会議に代表15人を派遣すること、自治体への働きかけすること、今後は毎週事務局会議・推進会議を行うことなどを決めています。

組合員・職員に依拠して目標1万筆達成 愛知・めいきん生協

めいきん生協は平和行進に間に合わせるかたちで、昨年6月から署名にとりくみ、地域の組合員が中心となってコツコツと集めました。8月には共同購入・個人宅配利用組合員対象に11万枚の署名用紙を配布しましたが、8月末の時点で5200筆と、非常に厳しい結果となりました。これではいけないとお尻に火が付き、まずは目標を1万筆と明確にして職員のマンパワーを頼りに進めることを柱に、11月から再度スタート。職員が主体的にとりくめるようにと学習資料を作成し、各部署の目標を明確にしてすすめました。その甲斐あってか1ヶ月であっという間に5000筆が集まり、目標を達成しています。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/g-news/>
携帯電話からもアクセスできます。